

仏教四大大会

仏教の思想を大学の理念とする、四大学(駒大、立正大、龍谷大、愛知学院大)の硬式野球部が行う交流戦。

1回戦
'13 8月21日

		打安点
(4)	砂川	210
DH	山口	200
(6)	下川	430
(8)	江越	212
(5)	福山	300
PH	前田	100
5	巻木	100
(2)	木下	400
(7)	齋藤	320
PH	清水	112
7	清小	000
(3)	西村	410
(9)	伊藤	211
H9	小森	110
		計 30115
▽二塁打=西村、江越、下川、清水		
回	打安責	
○片山	8	2760
箱島	1	410

駒大	110	002	022	8
龍谷大	000	000	000	0

☆駒大8-0龍谷大

初回到江越大賀(法3)の犠飛で先制すると、その後も着実に加点し8得点を奪った。投げては先発・片山雄貴(経3)が8回を無失点に抑える好投を見せ、決勝進出を果たした。



【右】8回を好投した片山

明日、決勝へ…
投打が噛み合い快勝!



【左】二塁打を放った清水

先発・片山は5回、6回には得点圏に走者を置くが粘りの投球で無失点に抑える。続く7、8回は三者凡退で切り抜けた。「調子は良くなかった」と言うが最近覚えたカーブが冴えわたった。本人は、「カーブは力みなく投げられる。今日も外野フ

ライを打たせる事が出来た」と仕上がりの良さを語った。打線は4点リードの8回表、2死二、三塁の好機を作る。この場面で代打の清水洋伸(国3)が初球、左越適時二塁打を放ち2点を追加した。「ストレートの初球を狙っていた。上手い事いってくれた」と興奮気味に話した。投打が噛み合い勝利した初戦。明日勝つて優勝となるか。文・写真 山本春熙

決勝戦

'13 8月22日

☆駒大9-2立正大

打線爆発で4大会ぶりの優勝!

“駒大打線”が爆発した。一点差で迎えた5回、ピクイニングが待っていた。相手投手を捉えようと怒涛の連打、野選や失策も含み5得点、そして2死二、三塁には篠原仁一朗(商1)が「久しぶりの感覚」と語った大学第一号となる右方向への3走本塁打が飛び出し、一気にこの回8得点、試合を決定づけた。久しぶりのスタメン、しかし前2打席は凡打、三振に終わった。一巡して打順が再び戻った5回での第二打

決勝戦・立正大戦は東都リーグ1、2部対決となった。1部校として負けない戦いとなった。結果、打線がつながり大勝、先発・今永昇太(経2)も好投し、5大会ぶりの優勝となった。一方でミスでの失点。笑顔での優勝ということにはならなかった。

駒大	100	080	000	9
立正大	000	000	011	2

		打安点
(4)	砂川	420
H4	松本	100
(7)	齋藤	520
(6)	下川	401
H	林	100
6	前田	000
(8)	江越	411
H8	小川	000
(5)	福山	422
(2)	木下	400
2	木岩	100
DH	永山	311
(9)	西村	110
(3)	篠原	313
		計 38108
▽二塁打=西村凌		
▽本塁打=篠原仁		
回	打安責	
○今塚	6	1830
塚高	1	511
橋	2	821



【上】表彰状とトロフィーを受け取る松本主将と村上浩一(経4)
【右】本塁打を放った篠原仁



文・写真 五十嵐秋音

しかし点差を離れた7回、失策で出塁した走者を押し出して帰してしま。続く8回も失策で3塁まで走者を進めてしま。い、ゴロで失点する場面があるなど守備の乱れが見られた。松本皐兵主将(地4)は「終盤は集中力が欠けてしまった」と厳しい表情。5大会ぶりの優勝となったが課題の残る一戦となった。

OBからの応援メッセージ

オープン戦対戦後にリーグ戦への応援メッセージをいただきました!

白崎勇氣
(H24卒・現JR東日本)
優勝目指して頑張ってください!!

嘉数駿(H24卒・現JR東日本)
春先2位の結果で今もいい流れできている。試合で強いみんな仕事ができている、意思をかんじる。今永はピンチでも完全に勝負してくる。5勝しただけある。春は勝負どこで負けたので、春に足りなかったものをつめて、秋頑張ってください。

小林勇人(H25卒・現東京ガス)
駒大は懐かしい感じでした。みんな頑張ってるなと感じた。チームには慣れてきた。春のリーグ戦はチェックした。優勝出来ると思っていたんですけど…秋は悔しい気持ちをぶつけて欲しい。